学校体育功労賞を受賞して

芦北町立湯浦中学校　　校長　　松本　秀一

平成２７年度熊本県学校体育功労賞を受賞させていただくことになり、まずは関係者の皆様にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。いろんな方々の支えがあってここまでこれたのだと感謝しているところです。

私は、大学卒業後、中学校の体育教師を目指しましたが、初任は飽託郡北部町（現熊本市）の西里小学校でした。三年後、念願だった中学校の体育教師として地元芦北へ赴任しました。三校で十七年間、体育の指導と部活動に明け暮れたのを覚えています。恩師でもあり、湯浦中学校に赴任時の校長である吉田扶先生から、体育教師は「凛とした指導をしなければならない」ということを盛んに指導されました。また、中体連の会議でも、各学校の校長先生から体育教師としての姿勢や体育担当へ期待することをよく聞かされました。それが、私の体育教師としての指導の原点になっていたように思います。また、野球と陸上の指導は、毎日の練習のみならず、土曜・日曜や祭日の練習試合によく出かけ、休みのない生活であったように思います。

この間は、中体研や中体連の郡市本部役員としても関わらせていただきました。研究理事となってすぐ、県中学校体育研究会が地元であるということで、準備等が大変だったことが思い出されます。さらに、芦北郡中体連の理事長としても九年間経験することができました。当時は、競技力において他郡市と比較にならないほど厳しいものでしたが、「芦北の三太郎峠を越え、外に出て力をつけなければならない」ということを、盛んに話をしたことがあります。今では高速道路も開通し、大変便利になったことで練習試合等を容易に組むことができるようになり、競技力も向上してきて結果も出せるようになってきています。現在、芦北水俣の中体連会長として、各学校の先生方の頑張りに感謝しているところです。

管理職として十五年間は、中体研、中体連の仕事を経験したことが、大いに役に立っています。教頭として文書処理はもちろんのこと、生徒や職員の指導まで、幅広くみることができました。また、湯出小学校の教頭では、同じ敷地内にある湯出中学校の野球部のコーチを引き受け、中学校の校長が監督、小学校の教頭がコーチと、練習試合にいく度に話題になったものでした。その後、水俣第一中学校の教頭を経て、校長として天草の御所浦中学校へ勤務することになりました。離島生活は初めての経験で不安もありましたが、あっという間の三年間でした。天草では、中体研、中体連にも関わることができ、芦北にはない多くのものを得ることができました。島を離れるときは、生徒･保護者のみならず地域の方も見送りに来られ、本当に楽しい三年間を過ごすことができました。地元に帰ってからは、天草という地で経験したことが、現在までの学校経営等に生かすことができています。残りわずかとなりましたが、今、つくづく思うのは本当に体育教師で良かったと思っています。学校体育で学んだことはもちろんのこと、中体研・中体連に関わったことも、自分を成長させてくれた一つであったように思います。これまで、いろいろな方々との出会いや仕事をさせていただく機会があったことが、今回の受賞に繋がったのではないかとと感謝しているところです。

最後になりましたが、県中体研、県中体連の益々の発展と会員の先生方のご活躍を祈念するとともに、長年にわたりご指導いただきました多くの先生方に感謝を申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。